令和７年度　江戸川区立本一色小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標		〇考える子 〇やさしい子 〇たくましい子	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	〇基礎・基本の定着を確実にし、確かな学力を身に付けられる学校。 〇教師一人一人がやりがいを感じ、情熱をもって教育活動を実践できる学校。 〇家庭・地域と協力し、心豊かな児童が育つ学校。 〇学校や地域の歴史、環境を大切にし、故郷として誇りがもてる学校。
前年度までの本校の現状	成果	〇友だちの話を最後まで聞く児童が増えた。他者意識の姿勢が見られるようになった。 〇授業で考える場面を工夫することにより、思考力・表現力を伸ばした。	課題	〇基礎・基本の確実な定着。 〇自分の考えを適切な言葉で話したり、相手の話を丁寧に聞いたりする姿勢をさらに身をつけさせること。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	〇授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・学校と民間事業者による放課後補習教室の実施	・放課後補習教室への登録率100％											
		・「本小スタンダード」の定着	・「本小スタンダード」が身についている児童を９０％以上にする											
	〇読書科の更なる充実	・図書館を使った調べる学習コンクールの取り組み	・応募率を３年生以上は100％、１、２年生は２０％以上											
体力向上	〇個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	・毎週、朝１５分間の運動タイム実施	・児童へのアンケート結果で、80％以上の児童が体力を高めようとしていると回答											
		・学期に1回のなわ跳び週間の設定	・児童アンケートの結果で、80％以上の児童が縄跳びに楽しく取り組むことができたと回答											
共生社会の実現に向けた教育の推進	〇ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・巡回指導や特別支援教室専門員の活用、日本語指導員や日本語教室との連携	・毎月1回、通常学級担当教員と特別支援教育担当教員の打ち合わせを実施											
	〇エンカレッジルームの活用促進	・エンカレッジルーム（ほっとルーム）の保護者への理解啓発	・年度初め、年度終わりの全学年の保護者会でエンカレッジルーム（ほっとルーム）を紹介											
	〇副籍交流、交流及び共同学習の実施充実	・年間指導計画に基づいた交流及び共同学習の実施	・各学期1回以上の実施											
不登校・いじめ充実	〇豊かな心の育成	・委員会活動や係・当番活動、異学年交流などの充実	・児童へのアンケート結果で、80％以上が係・当番活動をしっかりやっていると回答											
	〇hyper-QUの活用	・hyper-QUテストの児童の実態把握に基づいた指導の推進	・児童アンケートの結果で、９０％以上の児童が学校が楽しいと回答											

対応の	○教育相談の強化	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携強化	・不登校児童とのＳＣ、ＳＳＷ連携率100％												
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○学校（園）ホームページの充実等	・学校ホームページの更新	・こまめに更新しタイムリーな情報を伝える												
	○学校関係者評価の充実	・児童、保護者、地域、教職員へのアンケート調査の実施	・各学期に1回実施												
特色ある教育の展開	○働き方改革の推進	・月１回の定時退勤日の設定	・平均退勤時刻を１９時までに収める												
	○教員研修の実施	・教員の組織的な育成	・全教員年３回の授業公開												
	○異学年交流による思いやりの心の醸成	・異学年集団「あすなろ班」活動を年１０回以上実施	・児童へのアンケート結果で、80％以上が人が困っているときは、すすんで助けていると回答												